

やさしいまち

2020.

1

— 優しさ織りなす SAPPORO —

No. 235



今号の社協のひと

→P10



「共感する」
社会福祉協議会の役割

特集

→P02



→P09

まもりんツイッター更新中!

SAPPORO SHAKYO HEART KNIT



さっぽろ社協ハートニット

社協の[S]と札幌市民の[S]を組み
合わせ、「ハート」をモチーフに、心の糸
を紡ぐ社協のネットワークが、やさし
く包む生地(札幌のまちの基盤の目)
をつくりだす様子を表しています。



社会福祉協議会の役割

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 常務理事 瀬川 誠



地域の今

「地域」という言葉を聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。町内会・自治会、子ども会、お祭り、ご近所づきあい、或いは特段何も思いつくものはなく、ただの土地の範囲といった意味しか出てこないという方もいらっしゃるかもしれません。また、思い浮かんだものにポジティブな印象を持つかネガティブな印象を持つかも人によってそれぞれです。

特に札幌市のような都市部においては、「地縁」と呼ばれる、住んでいる土地に基づく人間関係は希薄になり、「遠くの親戚より近くの他人」ということわざにあるような状況は減ってきているような気がします。逆に近所の住民には心を閉ざし、顔も見たことがないインターネットの向こう側の他人と楽しみを共有したり、悩みを相談したりすることが多いのかもしれません。

これまで、地域が個人や家庭と公的な制度との中間的な立場で担ってきた課題解決(或いは緩和的)機能が弱まったことで、そうした課題は家庭から外に出ることなく潜在化してしまう傾向にあります。



瀬川常務理事 ▶

さっぽろ市民福祉活動計画

社会福祉協議会は、社会福祉法において、地域福祉の推進を図ることを目的とした民間の福祉団体として位置づけられており、札幌市においても地域の課題を解決するための様々な事業を実施しています。

「さっぽろ市民福祉活動計画」(以下「計画」)は、私たち札幌市社会福祉協議会(以下「市社協」)が計画的な事業展開を図っていくために策定しているものです。行政計画である「札幌市地域福祉社会計画」と連動して、多様な主体の参画のもと札幌市における地域福祉の取り組みを体系的に具体化しています。



▲「さっぽろ市民福祉活動計画」本書と概要版

計画では、「みんなが主役！お互いに支え合うやさしいまちづくりに向けて」という基本理念のもと、基本目標を「地域を基盤とするコミュニティソーシャルワーク機能の強化」と定め、この目標を達成するために、「共感する」「育成する」「つなげる」「支援する」「組織を強くする」「チャレンジする」という6つのアクションを設定しています。

市社協では、組織として行動するときや職員一人ひとりがサービスを提供したり相談を受けたりする時にも、この考え方を大切にして日々業務に努めています。



柔軟な思考と新しいアプローチ

さて、前述のとおり、市社協の基盤ともいえる「地域」が今変わりつつあるように思えます。この変化は得てして悪い意味で語られることが多いのですが、現在急激な変化の途中であることから、対応が追いついていない状況が目についているだけという見方もできます。今後新しい地域の在り方についての議論が深まり、定着していくことで、自ずとそれにあつた支援の仕組みや制度が成熟していくでしょう。

市社協としては、当然ながら今地域にある福祉課題の解決に向けて取組みを進めるとともに、変化する地域の在り方や個人の考え方に対応する新しいアプローチを検討していく必要もあります。6つのアクションの一つに「チャレンジする」という言葉があるのは、そうした想いも反映したものです。

変化する社会情勢に応じて、市社協も柔軟な思考を持って変わらなければいけません。以下にいくつか例を挙げます。

①「福祉人材の確保に向けた福祉業界のブランディングの強化」

近年の人材不足の波は、当然のように福祉分野においても喫緊の課題となっています。これまで、福祉の仕事に就いている人は、大変な仕事を選んだ偉い人というイメージもありました。しかし、サービスを提供して対価を得ている以上はどんな職業も社会のためになっているので、福祉従事者は偉いという評価はどうもしっくりきません。

福祉の仕事を選ぶ大きな理由の一つは、支援を必要としている人を笑顔にすることができるからです。人と関わることが単純に好きだったり、人が幸せになるお手伝いができる仕事に大きなやりがいを感じているからです。これからはこうした福祉の魅力を積極的に発信して福祉の担い手を増やしていくことが重要です。

②「福祉分野以外の多様な主体との連携」

社会福祉協議会は、元々地域における様々な団体・組織の参画を得て運営することを基本としています。今後もそうした方向性には変わりはありませんが、これからは、これまであまり積極的に参画を呼び掛けることが少なかった福祉分野以外の事業を行っている多様

な主体（民間企業など）とも手を結び、それらが持つ強み（マンパワー・ノウハウ・資金など）と福祉課題をつなぐことで課題を解決していく事例を増やしていきたいと考えています。



▲福祉施設の新採用職員を集めた合同オリエンテーション

変わらない想いと役割

地域の在り方や社会情勢が時代によって変化し、それに合わせて方法論がいくら変化しようとも、市社協の存在意義の根幹にある「想い」が変わることはありません。それは、地域で生活をしている全ての人が、普通に暮らせる幸せを実現することです。

私たちの役割は、市社協だけがこの想いに近づく努力をすることではなく、「共感」してくれる人や団体を増やし、福祉を担う人材を「育成」し、そうした方々を「つなぎ」、課題を抱える方を「支援」していくことです。

市社協は、この役割を果たすために今後さらに「組織強化」を図り、新しいことにも「チャレンジ」していきます。

市社協の想いに共感していただける方や少しでも興味を持たれた方は、一度ホームページをご覧ください。あなたの想いを支援を必要としている方に届けるための提案をずっと私たちは持っています。ぜひ一緒に札幌市の地域福祉を進めましょう。



この記事へ
お問い合わせは
総務課へ

地域で支える更生保護活動

札幌市更生保護女性連合会 会長 枝元 優子氏

更生保護女性会とは

更生保護女性会とは、いったい何をしている団体なのかと思っている方がたくさんいらっしゃると思います。

私たちは、犯罪や非行に陥った人たちの立ち直りを見守り、支えようとするボランティアの女性が集まった組織です。また、保護司会（法務大臣から委嘱を受け保護観察や犯罪予防活動を行う）、BBS会（非行をした少年たちの立ち直りなどの援助を行う青年ボランティア）と三者一体となり、少しでも人々が暮らしやすい安全で安心な明るい社会となるよう活動しています。

札幌市更生保護女性連合会は、昭和59年7月に「札幌市更生保護婦人会連絡協議会」として結成されたのが始まりで、今年で37年目になります。現在、札幌市内10区には各区の更生保護女性会があり、地域での実情に応じた多くの行事を企画実行しています。その活動の一部をご紹介します。



▲枝元会長

活動内容

○少年院生の出院準備昼食会

少年院を出院前に行われる研修時の昼食を、会員が手作りで準備します。少しでも家庭の味を味わってもらおうと心を込めて作っており、とても喜んでいただいています。

○矯正展

秋には、札幌刑務所主催の矯正展に出店しています。ふだん受刑者が食しているコッペパンを味わってもらおうと目玉商品の一つとして売り、名物となりました。ドーナツの販売やフリーマーケットなどの売り上げを活動資金の一部としています。

○共同募金運動

昨年10月1日に実施されました、赤い羽根共同募金の街頭募金運動に参加させていただきました。時代の流れか、年々足を止めてくれる人が少ないように感じ寂しい気がしました。



◀活動の様子



明るい社会へ

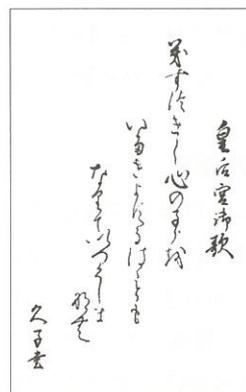
更生保護女性会は、その他まだまだたくさんの活動をしており、少しでも活動の輪が広がるよう、会員が知恵を出し合う研修の場を設け、意見の交換会をしています。

私がいつも心に留めている歌があります。

「きずつきし心の子らを いだきよする

ははとも なりていつくしまなむ」

これは、更生保護制度施行十周年にあたり、昭和34年9月、当時の皇后陛下から更生保護関係者に賜った



御歌です。まさに、更生保護女性会の活動の精神を表していると思います。

これからもたくさんの仲間が増え、もっともっと明るい社会になるよう、更生保護女性会一同頑張っ

◀日本更生保護女性連盟名誉会長だった島津久子さんの書による御歌

音楽を通じた社会貢献

札幌交響楽団 副主席オーボエ奏者／NPO法人 奏楽 理事長 岩崎 弘昌氏

オーボエという楽器に出会い、音楽を始めてから半世紀が経ちましたが、そもそも僕にとっては、音楽をすること自体が社会貢献であると思っています。

音楽との出会い

滝川市の中学に入学し、2つ上の姉が入っていた吹奏楽部を見学に行ったのが、音楽との出会いです。冷やかしのつもりが、どっぷりとはまってしまいました。全国大会に出場するほどの強豪でしたが、とてもユニークな活動をしていて、コンクールに出るだけでなく、施設や病院、極めつけは、他の中学校にも出向いて演奏していました。レパートリーも多彩で、明治から始まった日本の歌謡曲を「歌謡百年」というタイトルで演奏したり、流行していたテレビ番組のテーマ音楽を自分たちでメドレーにして演奏するなど、中学生とは思えないエンターテインメント集団でした。施設のお年寄りや長らく入院している患者さんたちは、本当に喜んで聴いてくれていたと思います。恩師である部活の顧問は「良い音楽は、ジャンルを越えて、良いものは良い」と言って、歌謡曲もジャズも、何でも演奏させてくれました。その中学3年間の音楽体験が、僕に大きな影響を及ぼしています。



▲岩崎 弘昌氏

札幌、そして奏楽の活動

音大を卒業後すぐに札幌交響楽団（札幌）に入団し、40年以上にわたって北海道内の様々な地域で演奏してきましたが、すべてを巡り切ることはできず、オーケストラという大きな規模では伺えない地域があるということに気づきました。中学での音楽体験を通して、より密接に社会と関わりたいと常々考えていた僕は、若い演奏家たちと共に「いつでも、どこでも、音楽を！」をモットーにした『アンサンブルグループ奏楽（そら）』を立ち上げました。自分が中学生の時に経験した、「演奏する喜び」「演奏を聴

いて笑顔になり、拍手をしてくださる喜び」を若い演奏家たちにも経験してもらいたいと思ったからです。

年間を通じて様々な場所で演奏をさせていただいていますが、なかでも大切にしているのが、2011年以降これまでに13回続けてきた東日本大震災の被災地での演奏活動と、自宅専門ホスピスの患者さんやご遺族のための演奏です。どちらも、演奏家が音楽の力を強く感じることでできる貴重な機会となっています。また私たちの活動は、個人・法人の賛助会員、企業など、賛同してくださるたくさんの方々の支援によって支えられています。改めて、深く感謝申し上げます。



▲地域に出向いての演奏会

最後に

一番はじめに「音楽＝社会貢献」と書きましたが、演奏をするだけでは音楽は完成せず、聴いていただくことで完成すると思います。もっと言えば、演奏を聴いていただいて、心に何かを感じていただいて、少しでも喜んでいただけることが、音楽を演奏することだと思っています。音楽を聴いて、喜んでいただけることは、演奏する者の喜びです。

北海道は広く、札幌以外ではオーケストラの演奏を聴ける機会がなかなかありませんが、これからも北海道内の隅々に出向いて、たくさんの人たちに演奏を聴いていただきたい。それが僕の望みです。



▲社会福祉総合センターでも大好評の奏楽のコンサート

あなたとSHAKYO

～社協を気軽に活用してください!～



● (き)もちが(ふ)くしをつくってる 寄付付き自動販売機で社会貢献

飲み物を買うだけで社会貢献になる、そんな仕組みがあります。社会福祉総合センター内に設置している自動販売機には、売上げの一部が社会福祉関係団体に寄付される「寄付付き自動販売機」があります。



この度、札幌市社協「愛情銀行」への寄付になる自販機も仲間入りしました。

◀寄付付きであることをポスターで表示しています

いただいた寄付金は札幌の地域福祉推進のために活用します。あなたの一本が社会福祉推進の力になります。飲み物と一緒に寄付先も選び、思いをカタチにしませんか。

「寄付付き自動販売機 寄付先」

- ・NPO法人札幌肢体不自由児父母の会
- ・札幌市共同募金委員会
- ・札幌市社会福祉協議会

この記事へのお問い合わせは
総務課へ

● 第11回 こまおか冬まつり

毎年恒例のこまおか冬まつりを今年も開催します！雪あかりコンサートや雪だるマンコンテスト、大じゃんけん大会、朝市店舗販売に温かいお飲み物の無料配



▲雪だるマンコンテスト



▲大じゃんけん大会の様子

布などイベントが盛りだくさんです。

当日は真駒内中学校のグラウンド横より無料送迎バスを運行しますのでぜひご利用ください。皆様のご来場を職員一同お待ちしております。

【日 時】

2月11日(火・祝)

13時00分～17時00分

【場 所】

札幌市保養センター駒岡

(札幌市南区真駒内600番地20)

この記事へのお問い合わせは
札幌市
保養センター駒岡へ

● 令和2年度 老人福祉センター・保養センター駒岡 定員制教養講座の募集

各老人福祉センター・保養センター駒岡では令和2年度「定員制教養講座」を募集します。

定員制教養講座は書道講座や絵手紙講座など、4月から1年間にわたり受講する講座で、毎年2月中旬頃に募集を行い、定員以上の応募があった講座は抽選により受講者が決まります。各施設により実施する教養講座は異なりますので、詳しくは各老人福祉センター、保養センター駒岡までお問い合わせください。

【参加対象】 60歳以上の札幌市民の方

【費用】 無料

(材料費やコピー代など別途必要な場合あり)

【募集期間】 2月17日(月)

～2月28日(金)

【抽 選 日】 3月5日(木)

この記事へのお問い合わせは
施設福祉課へ



●施設福祉職員内定者向け 合同オリエンテーション

福祉職場の人材確保・定着は大きな課題の一つであり、市内各法人でも苦慮している状況にあります。こうした課題を施設との協働によって解決していくための取組みとして開催します。福祉施設などの採用内定者に対し、福祉や介護職員として新たな職場に臨むた



▲昨年の様子

この記事へ
お問い合わせは
総務課へ

めの意識づけと、福祉従事者として働くことへの自覚を促しモチベーションの向上につなげることを目的としています。

- 【日 時】 2月29日(土) 13時00分～16時00分
【場 所】 社会福祉総合センター 大研修室
【参加対象】 社会福祉施設などの令和2年度新規採用内定者
【定 員】 100名程度

●アトリウムイベント

社会福祉総合センター1階アトリウムでは、ちょっとしたためになる講座や雑貨・お菓子の販売など様々な催しを予定しています。すべてお申込みは不要です。直接会場へお越しください。

～令和2年3月末までの予定～

「知っ得ひろば」

高齢者が安心して生活するために必要な知識を学びます。

- 【日 時】 毎月第1・3火曜日
11時30分～(30分程度)

この記事へ
お問い合わせは
総務課へ

「やさしさっぼろ手話講座」

あいさつや季節の表現など、楽しみながら簡単な手話を学びます。

- 【日 時】 毎月第2・4火曜日11時30分～(30分程度)

「てづくりマーケット」

障がい者の作業所などによる雑貨やお菓子の販売を行います。

- 【日 時】 月・水・金曜日11時00分～14時00分
(祝日を除く)

「やさしさっぼろ健康講座」

転倒予防・認知症予防のために、鍼灸師・あん摩マッサージ師の指導で簡単な体操などを行います。

- 【日 時】 毎月第2木曜日11時30分～12時00分

●わたしの生き方セミナー いつまでも自分らしく～終活2019～

人生で欠かすことのできない「衣・食・住・財」「医・職・充・才」をテーマに、様々な分野の講師を迎え講座を行います。思い通りに「終活」してみませんか？

お申込みは不要です。直接会場へお越しください。



この記事へ
お問い合わせは
総務課へ

- 【日 時】 毎月第4水曜日10時00分～11時30分
(質疑応答30分程度)

【場 所】 社会福祉総合センター1階アトリウム

【費 用】 無料

【内 容】

1月22日:「エンディングノートの書き方～遺言・遺贈・相続～」

講師/相続手続支援センター北海道支部
相談員 森井 隆氏、加藤 敦大氏

2月26日:「若く老いる～食の楽しみ方～」

講師/札幌市名誉調理師会 栄養士 吉岡 三江子氏



若い世代にも伝えたい 学生による福祉の情報発信の取組み

若い世代ならではの視点で

少子高齢化などを背景に、各分野で人材不足が大きな問題となっていますが、福祉業界も例外ではありません。これからの福祉の担い手となる若い世代に、福祉により関心を持ってもらうことを狙いとして、市内の大学に通う「学生レポーター」が、学生ならではの視点・切り口から、福祉情報の発信を行っています。



▲今年の学生レポーターの皆さん

市社協のホームページ上で公開している「学生レポーター通信」では、学生レポーター自身のボランティア活動の体験談、日常で感じた「福祉」にまつわる出来事などをブログ形式で投稿しています。

その他にも福祉についての理解を広めるために、子ども向けの情報紙「うえるうえる」の発行や、情報センター資料室と連携した福祉関係の図書資料や特集コーナーの設置などの活動も精力的に行っています。

情報センター資料室と連携した情報発信

情報センター資料室には2万冊を超える本・映像資料があり、そのうち約半数が福祉に関するものです。福祉専門職や福祉を学ぶ学生の皆さんの勉強や情報収集のために活用していただくには最適です。

また、高齢者でも読みやすい拡大文字の本や視覚障がい者のための点字本、子育て世帯向けには絵本なども揃えており、どなたにでも利用していただける「福祉の図書室」として親しまれています。



▲福祉の専門書が充実しています

こうした魅力を発信するため、学生レポーターの発案で、点字本や様々な素材があしらわれた本などを集めた「さわるえほん」コーナーが設置されました。障がいの有無に関係なくどなたでも楽しむことができるので、視覚障がいや点字に関する理解を深めるきっかけにしてほしいという思いが込められています。



◀「さわるえほん」コーナー



情報紙
ウエルウエル▶

市社協の理念である「お互いに支え合うやさしいまちづくり」の実現に向けて、福祉を身近なものとして捉えてもらうためにも、幅広い世代に福祉のことを知ってもらう取組みがますます必要になっています。

今後も、学生レポーターのアイデアを借りながら、将来の札幌の福祉の担い手である若い世代への福祉情報の発信を強化していきます。



SHAKYO 掲示板

福祉除雪協力員の募集

自力での除雪が困難な高齢者や障がい者を対象に、道路に面した出入り口部分(間口)と玄関先までの通路部分(敷地内)の雪を除雪して下さる個人・企業を募集しています。

除雪協力員には、12月1日～3月25日の活動期間後に1世帯21,000円を活動費としてお支払いします。

みなさんの優しさをスコープに込めて、ご自身の健康づくりにも役立つ除雪活動へのご協力よろしくお願いたします。



【お申込み・お問い合わせ】
地域福祉係・各区社会福祉協議会

ほっ・とプラザ協力会員の募集

日常生活に支障がある、高齢者や障がい者、病弱な方、産前産後各8週以内の方への家事の手助けや外出時の付き添い、除雪などを行う「有償のボランティア事業」を行っています。会員登録制で、午前の登録説明会、午後の活動前研修を受講することで、経験のない方でも有償ボランティア活動に参加することができます。

【日時・場所】
1月16日(木)：社会福祉総合センター3階 第2会議室
2月13日(木)：社会福祉総合センター3階 第3会議室
いずれも10時00分～15時30分

【対象】 有償ボランティアに関心のある方
【年会費】 300円(1月)、200円(2月)

【お申込み・お問い合わせ】
ほっ・とプラザ

大人のための朗読会

フリーアナウンサーの田中隆子さんによる文芸作品の朗読。

【日時】 2月22日(土)13時30分～
【会場】 社会福祉総合センター4階 大研修室
【参加費】 無料
【定員】 250組(先着順)
【お申込み開始日】 1月20日(月)



【お申込み・お問い合わせ】
情報センター資料室

さっぽろ子育てサポートセンター 提供会員募集

育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員になり、育児を手助けする「有償のボランティア事業」を行っています。子どもの見守りや保育園の送迎など、子育て中の方が、ちょっとした手助けが欲しい時のサポートです。登録後、11時間の講習があるので、安心して活動に入ることができます。

◇会員登録説明会
【日時】 1月21日(火)10時00分～11時30分
【場所】 社会福祉総合センター4階 視聴覚兼会議室
【対象】 札幌市在住、20歳以上の方
【お申込み開始日】 1月10日(金)

【お申込み・お問い合わせ】
さっぽろ子育てサポートセンター



まもりんツイッター更新中

マスコットキャラクターのまもりんが社協に関する情報を日々発信しています。



アカウント：mamorin93
【お問い合わせ】
総務課

〈情報センター資料室発！福祉関係者におすすめの一冊〉

「介護に役立つ人体力学」

井本 邦昭・著 PHPエディターズ・グループ 定価/本体 1,400円(税別)

整体指導者として活動してきた著者が、介護者の疲れを軽減し、介護を受ける人にも負担にならない介護方法を提案。移動・移乗の場面を中心に、両者が息を合わせ力を連動させて行う技などを写真とともにわかりやすく紹介します。

本の貸出を希望される方は情報センター資料室にお越しください。
情報センター資料室で貸出している本やDVDの蔵書検索は、こちらからご覧になれます。
URL：<http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index>



今月の
社協のひと

周りから吸収して、 成長していける職場です



Profile

プロフィール

やまざき みよ
山崎 美世

総合支援センターえがお
チーフケアマネジャー

入社日：
平成19年10月

趣味：
ジャズダンス、ヨガ、
演劇鑑賞

座右の銘：
一隅を照らす

働き始めたきっかけ

大学を出たあとグループホームやデイサービスで介護員として5年間の経験を積み、介護支援専門員(ケアマネジャー)の資格を取得しました。就職先を悩んでいた時に「ケアマネとして働くなら、先輩がたくさんいて、しっかり学ぶことのできる大きな組織が良いと思うよ」というアドバイスを受けたのがきっかけで、今の職場を決めました。

仕事の内容や魅力を教えてください

介護保険のサービス調整や生活相談を通して、在宅で生活を送るためのお手伝いを行います。総合支援センターえがおでは要介護3以上の、比較的介護度の重い利用者の支援を行っており、関わる事業所の数も多く、幅広い知識が求められます。

介護員として現場で働いていたころに常に考えていたのは“目の前のこの方に、いま何が必要か”ということ。直接利用者のお手伝いができる現場の介護職もやりがいがありましたが、ケアマネは利用者の24時間365日を想像しながら、生活のすべてを支援していきます。これがケアマネの仕事の魅力だと感じています。

これからの目標

今年の4月から「チーフケアマネジャー」として、他のケアマネの相談に乗ったり、チームのリーダーとしての役割を持つようになりました。これまで自分が頼りにし

てきた先輩たちのように、頼ってもらえるチーフになることが目標です。

<ある日の流れ>

- 8:45 始業 メールチェックなど
- 9:00 電話対応
- 10:00 利用者宅訪問①
- 12:15 昼休み
- 13:00 関係機関と電話で連絡調整
- 15:00 利用者宅訪問②
- 16:30 事務処理・サービス調整
- 17:15 終業 夜は演劇鑑賞へ

これから就職を考えている方へのメッセージ

経験豊富な先輩がたくさんいて、分からないことがあっても、誰かに聞けば解決へと導いてもらえるので安心です。周りから色々なことを吸収して成長していける職場なので、スキルアップを目指す方にはぴったりだと思います。ぜひ一緒に働きましょう。

同僚とのコミュニケーションから情報交換を▶



札幌市社協応援企業のみなさん

～賛助会員企業として札幌市社協の活動を応援しています～

トーアレガートパレス

サービス付き高齢者向け住宅

- 平成26年3月オープン、29年10月増築(12階建・全116戸)
- 24時間職員常駐の安心・安全・快適な住まい
- 地下鉄南北線「北34条駅」5番出口から徒歩1分(交通至便)
- 月額利用料金 介護居室(1R:Aタイプ)188,500円
(食費込み) 一般居室(1Rタイプ)138,500円～
※ (1LDKタイプ)237,000円～

入居相談・昼食付見学会
随時開催中

※昼食ご希望の場合は事前にお申し込み願います。

場所 トーアレガートパレス
(北区北31条西4丁目3番18号)
※南北線「北34条駅」5番出口後方1分
申込先 ☎0120-163-063



資料請求・お問い合わせ先：(株)トーアイこいの社 入居相談室(札幌市北区北31条西4丁目3番18号) ☎0120-163-063

これからは、シンプル2択。

ギガホ

ネットたっぷり!

4,980円/月

ギガライト

超リーズナブル!

1,980円/月

ドコモ新料金プラン誕生。お申込み受付中!

*1 第一「ファミリー割引グループ」内における番号通話可能な料金プラン(2in1、キッズケータイプラス、キッズケータイプラスを除く)契約回線がカウント対象です。*2 2年契約一括償却の契約が必要となり、所定の月出費がない限り、2年単位での自動更新となります。契約期間内での解約(任意解約)は、1回解約料(税別)の解約金がかかります。*3 初回適用月は割引+5ヶ月間1,000円/月割引となる「ギガホ」適用時の料金です。*4 毎月のご利用データ量に応じて金額が変動します。*5 「ギガホ」はデータ量30GB超過の場合、通信速度が低下します。「ギガライト」はデータ量7GB超過の場合、通信速度が低下します。*6 別途通話料などががかかります。

遺言から相続手続・相続税まで総合サポート!!

無料相談実施中!!

相続対策・成年後見に関するお悩みにも対応いたします。
(業務により各専門家が対応)

無料相談受付は... ☎0120-116063
受付時間：9:00-17:00
(土日祝祭日を除く)

むらさみ経営グループ

相続手続支援センター北海道支部

税理士法人むらさみ総合事務所(北海道税理士会所属)
札幌市中央区南8条西4丁目422番 GRAND PARK BLD



ソロプチミストの原点は奉仕です

- ・暴力などで困っている人を助けたい
- ・奉仕を実践している方を応援したい
- ・教育の機会を与えたい



身近にいらっしゃいましたらご相談ください。

今年度、認証35周年を迎えます。

国際ソロプチミスト札幌中央 事務局 ☎090-2875-0095

季節の行事・多彩なレクリエーション・天然温泉のある暮らし!



サービス付き高齢者向け住宅

ルルドの泉 (平成28年7月開設)

入居相談見学会
一随時受付中一

※事前に見学希望日のご連絡をお願いします。
※見学会時の送迎ご相談承ります。



お問い合わせ・資料請求は

☎011-897-6610

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条6丁目5-35

(施設概要) ●入居要件：60歳以上自立・要支援・要介護 ●築年数：G7築 ●築業室数：30室 ●開設年月日：2016年7月1日 ●構造：RC造地上3階地下1階 ●有効床の面積：約1,740㎡ ●利用料金：月154,740円～215,740円 ●交通：中央・JRバス「厚別中学校前」徒歩6分 ●事業主体：(株)メディアカレッジ

応援企業を募集しています!



地域福祉のサポーターとして、お互いに支えあう街づくりの実現のため、札幌市社協の応援企業になりませんか

企業・団体(1口)10,000円

ご寄付ありがとうございました

- 2019年
 9月29日 松緑神道大和山 様
 10月15日 フラワーショップ花れん 様
 10月28日 株式会社ツルハ 様、ユニ・チャーム株式会社 様
 10月30日 絆の会 翔扇寿啓 様
 10月31日 親切会 北海道支部 様
 11月25日 深田 新 様、深田 順子 様
 11月27日 札幌防犯健全協力会 様



松緑神道大和山 様



ツルハ 様、ユニ・チャーム 様



絆の会 翔扇寿啓 様



親切会 北海道支部 様



深田 新 様

内部広報 「今日のイネ」より

●「今日のイネ」とは…

職員が「これは良い!」と感じた、6つのアクションを実践する活動や行動を取り上げて紹介・共有するしくみです。

ヘルパーに求められる知識、技術は日々変化しています。仕事の幅を広げたり、苦手を克服するために、個別の研修も行っています。
 今回は、若手男性ヘルパーが、「2人分」「短時間」をテーマに「レンジでつくるお惣菜」の調理実習を行いました。15分で2品。時間との闘いにチャレンジし、サービス提供責任者のアドバイスを受けながら無事完成。人生経験の長短、性別に関係なく活躍できる北ヘルパーセンターは、研鑽の日々です。

<投稿者>
北ヘルパーセンター



支援する

来て・見て・福祉用具の力を学ぶ! 「ふくし用具機器展 in さっぽろ 2019」を開催しました。40社を超える福祉用具関連企業による500点以上の最新機器の展示や各種セミナーのほかにも、手作りマーケットやチャリティ販売、ミニコンサートなど盛りだくさんのプログラムで、2日間で1300名の方にお越しいただきました!

<投稿者>
総務企画係



共感する

介護事業課ではヘルパー職員へスマートフォンの導入を開始しました。目的は今後導入するスマホ用アプリによる「事務の効率化による生産性の向上」と「情報共有の円滑化によるサービスの質向上」にあります。これからも、業界最先端システムの導入に向けた職員達のチャレンジは続きます!

<投稿者>
介護事業課



チャレンジする

札幌市社会福祉総合センターアトリウムで開催された「知っ得くひろば」では、地域包括支援センターの職員が認知症をテーマにした講話を行いました。1回目は認知症の基礎知識、2回目は治療について紹介をしました。参加者の方々は聞きながらメモを取ったり、時には笑ったり、通常の硬い講話とは異なり、講師を身近に感じることができ和やかな講話となりました。

<投稿者>
地域包括課



育成する

お問い合わせ先 一覧

電子書籍ポータルサイト「hokkaido ebooks」でもご覧になれます。
<https://www.hokkaido-ebooks.jp/>

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階
 <代表> 電話 614-3345 FAX. 614-1109

総務部

- 総務課・展示ホール 614-3345
- 職員課 623-0010
- 経営財務課 614-3343
- 情報センター資料室 614-2001
- 社会福祉総合センター 614-2948

地域福祉部

- 地域福祉係 614-3344
- 生活福祉係 614-0169
- 札幌市共同募金委員会 614-3532
- ボランティア活動センター 623-4000
- ほっ・とプラザ 623-4010
- さっぽろ子育てサポートセンター 623-2415
- 高齢者・障がい者生活あんしん支援センター
(権利擁護係・相談係) 632-7355

介護事業部

- 介護事業課 623-0001
- ### 施設福祉部
- 施設福祉係 614-1002
 - 養護老人ホーム長生園 614-1171
 - 札幌市保養センター駒岡 583-8553
- ### 地域包括部
- 地域包括課 623-4021
 - 調査課 623-4022

- 中央区社会福祉協議会 281-6113
- 北区社会福祉協議会 757-2482
- 東区社会福祉協議会 741-6440
- 白石区社会福祉協議会 861-3700
- 厚別区社会福祉協議会 895-2483
- 豊平区社会福祉協議会 815-2940
- 清田区社会福祉協議会 889-2491
- 南区社会福祉協議会 582-2415
- 西区社会福祉協議会 641-6996
- 手稲区社会福祉協議会 681-2644



ホームページでもご覧になれます。
<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>